

KMI 30年を振り返って

関西医療情報処理懇談会

記録制作委員会

KMI設立30周年に寄せて

- KMI第5代会長 黒田知宏
「KMI設立30周年 おめでとうございます」
- 武田 裕 「HISの発展期から」
- 楠岡英雄 「設立30周年と聞いて驚いた2つのこと」
- 宮本正喜 「KMI30周年に寄せて」
- 吉原博幸 「データの2次利用のゆくえ」
- 入江真行 「KMI 紙から電子へ」
- 中沢一雄 「KMI もっと前へ」
- 松村泰志 「KMIと共に、そしてこれからのKMI」
- 山本和子 「KMIは集ってワイワイガヤガヤ」

コンテンツリスト

1. [KMI 30年表](#) (事務局編集)
2. [活動記録](#) (事務局編集)
3. [過去の発表記録 個人別登壇回数](#) (事務局編集)
4. [歴代会長・事務局](#) (事務局編集)
5. [KMI温故知新 20周年 KMIのころ](#) (内藤先生作製)
6. [医療情報 事始め](#) (宮本先生作製)※一部改変
7. [KMIの誕生秘話](#)
8. [KMI会報アーカイブ](#)
9. [編集後記](#)

KMI誕生秘話

- 稲田 紘 「懇談会としてのKMIの誕生まで」
- 高橋 隆 「地域結集型研究会としてのKMI」
- 橋本則男 「待ちに待って生まれたKMI」
- 河村徹郎 「誕生ならびに命名 KMI」
- 内藤道夫 「本音を語るKMI」
- 宮本正喜 「KMIの誕生」

KMI 会報アーカイブ PDF版 第1回-20回(87年-96年)

- [第1回](#) 1987年9月3日
- [第2回](#) 1988年9月3日
- [第3回](#) 1989年2月18日
- [第4回](#) 1987年7月8日
- [第5回](#) 1989年10月21日
- [第6回](#) 1990年8月25日
- [第7回](#) 1991年1月19日
- [第8回](#) 1991年4月20日
- [第9回](#) 1991年8月24日
- [第10回](#) 1992年1月25日
- [第11回](#) 1992年7月4日
- [第12回](#) 1993年1月23日
- [第13回](#) 1993年7月3日
- [第14回](#) 1994年1月22日
- [第15回](#) 1994年7月16日
- [第16回](#) 1995年3月4日
- [第17回](#) 1995年9月9日
- [第18回](#) 1996年2月17日
- [第19回](#) 1996年7月13日
- [第20回](#) 1996年9月28日

第21回以降の開催記録については、KMIホームページ
<https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/~kmi/>をご覧ください。

編集 後記

2017年3月25日のKMI役員会において「30周年事業としてKMI歴史紹介ウェブページを作成し、2017年度内に公表予定とする。」ことが承認されました。10周年時は橋本先生、20周年時は内藤先生がまとめを発表されていました。2016年度最後の例会（2017年1月開催）で宮本KMI前会長の「関西医療情報 事始め ～あの時を振り返って～」講演に触発され一気にKMI歴史のアーカイブ化が30周年事業となりました。早速宮本先生に講演スライドをご提供して頂き、歴代の先生方に寄稿文をお願いしたところ、6名の方から「KMI設立39周年に寄せて」、5名の方から「誕生秘話」を頂きました。また、内藤先生からは20周年の発表時のパワーポイントスライドと大切に保存されていた議事録のプリントを頂きました。さらに歴代の事務局で管理されていた活動記録などの資料を収集し、PDFファイルとしてまとめたものが今回のアーカイブです。これ以外にも資料や多くの写真があるようですが今回は割愛しました。不十分なアーカイブですがご容赦ください。

89年（平成元年）に母校附属病院のHIS構築に参加しKMIにはお世話になってきました。過去のKMI議事録をみると市大病院のオーダリングシステムの紹介文があり、当時の想いに心が飛びました。この3月に早期退職となりますが、最後の仕事を期限内に終えてほっとしています。KMIの今後のますますの発展を祈願しております。（朴）

「飲水思源（いんすいしげん）」は、中国の故事成句の一つで、Wikipediaによれば、「水を飲む者は、その源に思いを致せ。」という元の意味が、やがて広く解釈されるようになり「井戸の水を飲む際には、井戸を掘った人の苦勞を思え。」という意味で使われるようになったとのこと。朴先生、塩見さんとの編集作業で寄せられた原稿や資料を拝見していますと、この「飲水思源」が思い起こされました。どなたが井戸を掘ったというのではなく、関西で医療情報に関わる方々の底に流れるものを、しっかりと整理できたのではないかと思います。（玉川）

最後になりますが、KMIの事務局を担当し、資料の作成、管理をされてきた歴代の秘書、和歌山医大 石川 陽子さん、兵庫医大 今井 博美さん、京都大学 塩見 香保里さんに感謝の意を表します。